

思考の枠を広げる自然からの学び

リサーチの背景

人間の衣食住は自然に支えられており、その上で社会が成り立ちます。SDGsウェディングケーキモデル(下図)でも、自然環境と関わるゴールは全てを支える位置にあります。しかし都市化社会を生きる私たちはこのことを忘れがちです。その現状と、自然環境とのつながりを結び直す視点を考察します。

作成者: A. T.

レポートに関する
お問い合わせ:
03-5542-5300
info@sfinter.com

SDGsウェディングケーキモデル



(出典: Stockholm Resilience Centre “How food connects all the SDGs”)

自然に対する意識の現状

ジャパンSDGsアワード受賞の取組みの内、自然環境に関わるゴール(6,13,14,15)の延べ数は16.1%と多くはありません。背景として以下のような調査結果が挙げられます。①子どもの遊び場は「陸の自然」10%以下・「水辺」0%(平成8年版環境白書調査)②第一次産業従事者割合が4.0%まで減少(平成27年国勢調査)③森林と持ちたい関わりについて「散策・ウォーキング」60.2%等レクリエーションが主(令和元年世論調査)。自然が衣食住を支えている実感を体験的に得る機会が非常に少ないのが日本の現状です。

自然の智慧に学ぶ

一方、自然と直接関わりながら環境再生に取り組む団体も多くあります。例えばNPO法人樹木・環境ネットワーク協会は、自然と文化を学ぶグリーンセイバー資格検定で人を育て、**里山再生や環境教育の現場へ繋ぐ活動**を行っています。また、NPO法人地球守の高田宏臣氏は、造成により水と空気の流れが遮断され環境が劣化した住居や山林等に、**土中微生物の力を借り自然の働きを阻害しない造作を施す環境再生**を行っています。この智慧は、神社等の造作に残る日本古来の深い自然への理解と、**現地を体感して自然がどう環境を整えるか読み解く**ことから得られているものです。

空気と水の流れを生む造作



(2017年1月27日、「心地よい里山へ～環境再生講座」
(講師:高田宏臣氏, 著者撮影)

自然を体験するという学び

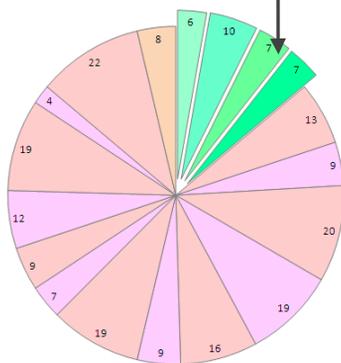
自然に衣食住を支えられている実感を失ってきた時間は、良かれと思って経済的な豊かさや効率を追求してきた時間でもありました。それでは解決できないからこそ打ち出されたのが、SDGsの「誰一人取り残さない」「2030年までに全世界で達成する」という強いメッセージです。気候変動が激化する地球で**生き抜きながらSDGsが描く世界を実現するには、自然から学ぶ視野と態度を今一度取り戻すことが大切ではないでしょうか。**体験・体感を通して得られる智慧は、情報や知識とは別の英知を含んでいます。ぜひ、まずは身近な自然を感じ、自然と関わる人たちの思いに触れてみてはいかがでしょうか。

第1～3回ジャパンSDGsアワード受賞者が取り組んだSDGs項目

「ジャパンSDGsアワード」とは、日本政府設立のSDGs推進本部が国内の企業・団体の取り組みを表彰する制度です。第3回まで実施・延べ39組が表彰され、HPIには各組が取り組んだゴールが複数明示されています。その内訳を示したのが以下のグラフで、緑で示した自然環境に関わるゴール(6,13,14,15)は全体の16.1%に留まっています。

自然・環境に関わる項目への取り組みは

全体の **16.1%**



表彰された企業・団体が取り組んだゴール

※円内の数字はのべ件数

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ⑥安全な水とトイレを世界中に | ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに |
| ⑬気候変動に具体的な対策を | ⑧働きがいも経済成長も |
| ⑭海の豊かさを守ろう | ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう |
| ⑮陸の豊かさを守ろう | ⑩人や国の不平等をなくそう |
| ①貧困をなくそう | ⑪住み続けられるまちづくりを |
| ②飢餓をゼロに | ⑫つくる責任つかう責任 |
| ③すべての人に健康と福祉を | ⑬平和と公正をすべての人に |
| ④質の高い教育をみんなに | ⑰パートナーシップで目標を達成しよう |
| ⑤ジェンダー平等を実現しよう | ①～⑰すべて |
| ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに | |

自然・環境に関わる団体例

[NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会](#) / [NPO法人 地球守](#) / [公益財団法人 日本野鳥の会](#)
[公益社団法人 日本シェアリングネイチャー協会](#) / [一般社団法人 養老の森](#) / [東京コットンビレッジ](#)
[公益財団法人 トロロのふるさと基金](#) / [NPO法人 森は海の恋人](#) / [NPO法人 大山千枚田保存会](#)

◇ お住まいの地域の公園・公民館・野外活動施設なども活用されています。



樹木・環境ネットワーク協会
『身近な野草ドクダミを楽しく活用する講座』(出典:協会ホームページ)



日本シェアリングネイチャー協会
ネイチャーゲーム<目かくし歩き>(出典:協会ホームページ)



大山千枚田保存会
「大豆トラスト」(出典:団体ホームページ)

参照・引用資料

- 外務省 JAPAN SDGs Action Platform, “[ジャパンSDGsアワード](#)”.
- 環境省編,「[環境白書.平成8年版](#)」,1996.
- 総務省統計局,“[平成27年国勢調査就業状態等基本集計 結果の概要](#)”
- 内閣府,“[世論調査報告書 令和元年10月調査 森林と生活に関する世論調査](#)”
- [NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会](#)
- [NPO法人 地球守](#)
- 『日本住宅新聞』,高田宏臣,2016年12月5日～4月5日,「環境の再生、環境の視点から新たな建築土木へ～土、水 空気の循環から」

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。

本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。

また、本件に関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。